

校正者のお仕事

—本を支える言葉の守り手—

2023年度JLA中堅職員ステップアップ研修(領域3)

2023年11月22日(水)14:00～16:30 オンライン(Zoom)

講師:大西寿男(ぼっと舎)

ぼっと舎 <https://www.bot-sha.com>

●大西寿男(おおにし・としお)

一人出版社「ぼっと舎」代表。今年1月13日放送のNHK『プロフェッショナル 仕事の流儀』が大きな反響を呼ぶ。河出書房新社、集英社、岩波書店などで、主に文芸書・一般書の校正にたずさわりつつ、編集・DTP・手製本など自由な本づくりに取り組む。『陸王』(池井戸潤)、芥川賞の『推し、燃ゆ』(宇佐見りん)なども担当。セミナーやトークイベントで、校正の技術のみならず心がまえを伝える。“ことばの寺子屋”「かえるの学校」共同主宰。著書に『校正のこころ』『校正のレッスン』『セルフパブリッシングのための校正術』など。

1●校正者と図書館

2●出版中での校正の仕事

本ができるまで

最近の仕事から

最初から完璧な原稿はない

3●校正の現場から

正しい日本語とは

差別表現

4●言葉の見た目問題

文字組の基本

ルビ(振り仮名)

表記

漢字の字体

5●出版史の中で見た校正

6●言葉のエンパワメント

校正の2つの目的

徹底して受身の仕事

2つのアプローチ

誰もが情報発信できる時代に

【参考図書】

●校正を学ぶ

大西寿男『校正のこころ』増補改訂第2版、創元社、2021年

大西寿男『校正のレッスン』改訂3版、出版メディアパル、2019年（第2刷）

大西寿男『セルフパブリッシングのための校正術』日本独立作家同盟〈群雛文庫〉、2016年 ＊電子書籍

牟田都子『文にあたる』亜紀書房、2022年

牟田都子「縁の下で」『本を贈る』三輪舎、2018年

井上孝夫『その日本語、ヨロシイですか?』新潮社、2014年

講談社校閲部『熟練校閲者が教える——間違えやすい日本語実例集』講談社文庫、2018年

メアリ・ノリス著、有好宏文訳『カンマの女王——「ニュー Yorker」校正係のここだけの話』柏書房、2020年

レシピ校閲者の会編『おいしさを伝えるレシピの書き方 Handbook』辰巳出版、2017年

ヴェリタ編『校正という仕事』世界文化社、2015年

【Web】校正・校閲というお仕事 - DOTPLACE <http://dotplace.jp/archives/28832>

【Web】よい校正ってなんだろう？ 校正ナイト (@6次元) レポート - DOTPLACE
<http://dotplace.jp/archives/18990>

●新聞校閲

毎日新聞校閲センター『校閲至極』毎日新聞出版、2023年

毎日新聞校閲センター『校閲記者も迷う日本語表現』毎日新聞出版、2023年

毎日新聞校閲グループ『校閲記者の目』毎日新聞出版、2017年

東京新聞・中日新聞編『校閲記者の日本語真剣勝負』中日新聞東京本社、2019年

朝日新聞校閲センター『いつも日本語で悩んでいます』さくら舎、2018年

【Web】出版校閲者が語る この仕事の“現実”と“本質” - 毎日ことば（毎日新聞校閲センター）、2019年
<https://mainichi-kotoba.jp/blog-20190105/>

【Web】「事実確認どこまで？」出版校閲者の方々に聞く - 毎日ことば（毎日新聞校閲センター）、2018年
<https://mainichi-kotoba.jp/blog-20181229/>

●小説とエッセイ

川上未映子『すべて真夜中の恋人たち』講談社、単行本：2011年、講談社文庫：2014年 2011年

宮木あや子『校閲ガール トルネード』KADOKAWA、単行本：2016年、角川文庫：2016年

宮木あや子『校閲ガール ア・ラ・モード』KADOKAWA、単行本：2015年、角川文庫：2016年

宮木あや子『校閲ガール』KADOKAWA、単行本：2014年、角川文庫：2016年

高橋輝次編著『誤植文学アンソロジー』論創社、2015年

高橋輝次編著『増補版誤植読本』ちくま文庫、2013年